

授業科目名 <英訳>	フランス語学フランス文学(特殊講義) French Language and Literature (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 准教授 王寺 賢太					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2018・ 前期	曜時限	水5	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	歴史家レナルと18世紀西欧における世界史叙述の勃興										
【授業の概要・目的】											
<p>ギヨーム=トマ・レナル(1713~1796)は、今日『両インドにおけるヨーロッパ人の植民と商業についての哲学的・政治的歴史』(邦訳あり)によって知られる18世紀フランスの歴史家である。1770年、1774年、1780年と増補改訂を加えながら版を重ねた『両インド史』は、とりわけ晩年のドニ・デイドロ(1713~1784)が匿名で執筆した数々の政治的雄弁の断章によって、「旧体制」末期の同時代の西欧と世界の政治・経済の現状を検討し、果敢な批判と改革の提言を行った書物として知られている。</p> <p>本講義では、『両インド史』の著者レナルの18世紀中盤以来、歴史家・ジャーナリストとしての業績を検討し、18世紀の西欧と世界が経験した歴史的動揺と、それに伴う政治的・経済的言説の変動のなかで、レナルがどのようにして地球規模の広がり視野に入れた「世界史」叙述を行なうに至ったか、そしてその「世界史」叙述が具体的にどのような記述を展開し、著者たちのいかなる政治的立場と結びついてきたかを検討する。フランスに限らず、広く18世紀西欧の歴史、歴史叙述、政治思想、経済理論を射程に入れ、アメリカ合衆国独立とフランス革命を経験する18世紀末の西欧が、「近代」のとば口にあっていたいかなる世界観を紡いでいたかを議論したい。</p>											
【到達目標】											
<p>16~18世紀の近世フランスを中心に、「近代」の政治=経済体制を先駆的に実現することになった西欧の歴史と文化についての広い教養を身につける。</p> <p>18世紀フランスを中心に、歴史叙述・政治思想・経済理論など、後代の「社会科学」的言説の先駆となる18世紀西欧の「文芸」・「哲学」の諸ジャンルについて知見を深める。</p> <p>一般に、古典的文献を精密に読解し、同時代の社会的条件や出来事と対比しながら、思想史を捉える手法を身につける。</p>											
【授業計画と内容】											
<p>基本的に、本講義では、レナルの歴史家・ジャーナリストとしての著作を一つ一つ取り上げながら、その歴史叙述の特質、歴史家・ジャーナリストの役割についての考察、さらに政治・経済思想のつながりに焦点を当てる。前期には『両インド史』以前の著作似焦点を当てて講義する。その際、鍵となるフランス語テキストの抜粋を配布し、その都度、受講生に訳読を担当してもらう。</p> <p>導入：ギヨーム=トマ・レナル(1713-1796)と『両インド史』紹介 オーストリア継承戦争(1741-1748)前後のパリ文壇へのデビュー(1)：『オランダ総統史』(1747-1750)と『イギリス議会史』(1748-1751) オーストリア継承戦争(1741-1748)前後のパリ文壇へのデビュー(2)：同上 レナルと18世紀中盤の学芸の世界の変容：『文藝新報』(1747~1755)・『メルキュール・ド・フランス』(1750~1754)と同時代の歴史叙述・政治経済学・哲学 近代ヨーロッパとは何か(1)：フランス王国起源論争のなかのブーランヴィリエ、デュボス、モンテスキュー 近代ヨーロッパとは何か(2)：フランス王国起源論争のなかのレナル 近代ヨーロッパとは何か(3)：レナルとルソー『学問芸術論』(1751)</p>											
フランス語学フランス文学(特殊講義)(2)へ続く											

フランス語学フランス文学(特殊講義)(2)

近代ヨーロッパとは何か(4)：ルソー『学問芸術論』と歴史叙述の問題
近代ヨーロッパ史の試み(1)：レナル『ヨーロッパ歴史・軍事・外交逸話集 / 覚書』(1753 / 54)をめぐって
近代ヨーロッパ史の試み(2)：同上
七年戦争(1756～63)とレナルの近代ヨーロッパ史叙述プロジェクトの転換：『軍事の学校』(1762)
「軍事の学の進歩」と近代ヨーロッパ国際関係の変動(1)：『ヨーロッパ戦争史』(1764-70?)
「軍事の学の進歩」と近代ヨーロッパ国際関係の変動(2)
『両インド史』の概要と変貌：レナルの近代ヨーロッパ史叙述プロジェクトとの連続性と断絶を中心に
予備

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点及び達成度]

フランス語が読める学生には、通常授業でテキストの翻訳を担当してもらう。ほかに期末にレポートを課す予定。

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学習(予習・復習)等]

訳読の担当は、フランス語のトレーニングとってください。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。